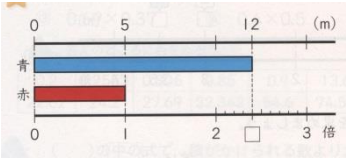


月日 (校時)	単元名	教材名										
6月13日 (水) 5校時	小数のかけ算	小数のかけ算を考えよう										
本時のねらい ○純小数倍で表す場合も含めて、小数倍の意味の理解を確実にする。												
評価規準 [知] 倍を表す数が小数倍になる場合があり、そのとき比較量は基準量より小さくなることを理解している。(ノート・発言)												
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価										
【導入】 13:30	○前の時間のまとめ・振り返りを隣の人と交流してください。 ・整数の時に習った計算の決まりは、小数でも成り立つ。	・ノートや学習掲示を見てペアで前時の振り返りをさせる。										
【展開】 問題提示 13:32 ・問いの共有 課題把握 13:35 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード 13:37	1 問題を読む。 右の表のような長さのリボンがあります。 赤のリボンの長さをもとにすると、ほかのリボンの長さは、それぞれ何倍ですか。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>白</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>青</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>黄</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○気づいたことや、これまでの学習との違いを発表しましょう。 ・赤のリボンを基準に考えればいい。 ・わり算が使えるそうだな。 ・数直線を見て考えると答えが小数になりそう。</p> 2 課題を把握する。 倍を表す数が小数になる場合について、数直線、式、言葉を使って説明しよう。 (一人学び (6分)・班学び (7分)・学び合い (10分)・まとめ (3分)・振り返り (3分)) 「数直線、式、言葉を使って説明する (整数、小数、商、基準量、倍)」 		長さ (m)	赤	5	白	10	青	12	黄	4	・既習から解き方の見通しを持たせ、本時の課題を設定できるように促す。 ・数直線、式などを使い様々な方法で考えるよう促す。 ・立式でとまどう児童には、白のリボンの長さの何倍であるか (整数倍) を考えさせる。 ・基準値や0.8倍の意味を数直線を使って確かめさせる。
	長さ (m)											
赤	5											
白	10											
青	12											
黄	4											
解決活動 ・1人学び ・班学び 集団解決 ・学び合い 13:50 ・考察 13:55 まとめ 14:04	3 青と黄のリボンが赤のリボンの何倍になるかを考える。 ○赤のリボンを基準にすると、青と黄のリボンはそれぞれ何倍になるでしょう。気づいたことも書きましょう。 4 学び合いで気づいたことを発表する。 ・倍の数を表すときは、小数や1より小さい小数で表すことがある。 ・基準になる長さによって表し方が違う。 ・基準になる長さを1と見る。 倍を表すときは、1より小さい小数になるときもある。 0.8倍は5mを1と見たときに、4mが0.8になることを表す。											
【終末】 振り返り 14:07 適応問題 14:12 14:15	5 学習したことを振り返る。 6 適応問題に取り組む。(P.43 △1)	[知] 倍を表す数が小数倍になる場合があり、そのとき比較量は基準量より小さくなることを理解している。(ノート・発言)										